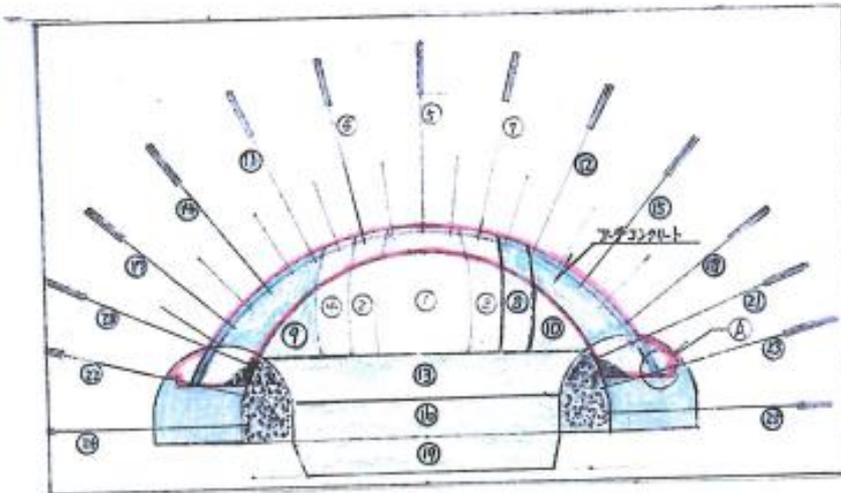
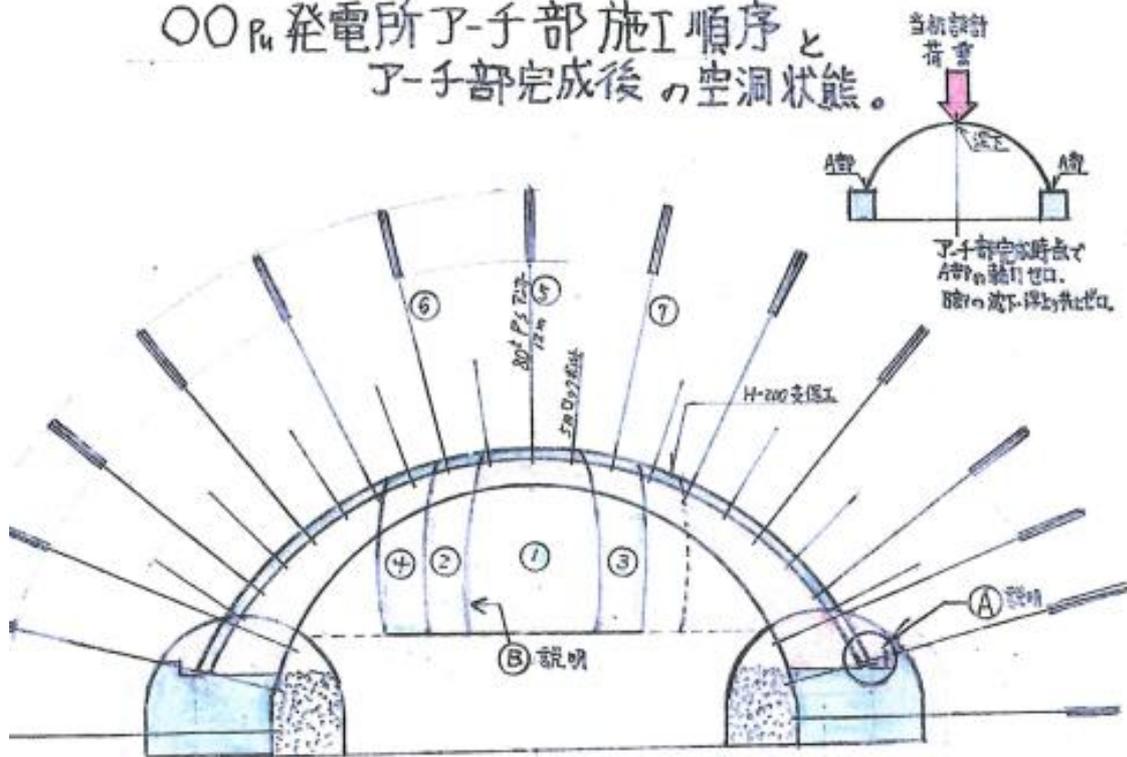
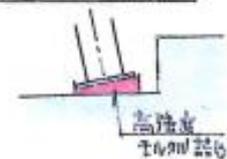


No. 20 地下発電所アーチ部の施工順序とアーチ完成後の空洞状態

〇〇<sub>R</sub> 発電所アーチ部施工順序と  
アーチ部完成後の空洞状態。

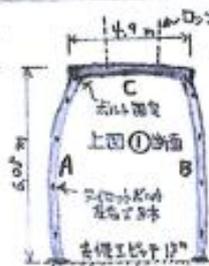


①部詳細



H-200 鋼脚支保工の  
底板は右向き図におよ  
モックアップをきいた。  
全34基×左右=68基の  
覆工コンクリート直前まで  
私の目でクラック発生の  
観察を続けた。  
最終まで全4桁でクラック  
発生しなかった。

②支保工  
(桁数) A・BはH-150  
(桁数) CはH-200



- ～作業手順～
- ① Aを起しタイロッドをつなぐ。  
ボクホウ使用。
  - ② Bを起しタイロッドをつなぐ。  
ボクホウ使用。
  - ③ CをA・Bの上のせり出しにつなぐ。  
ジャンボ-Zバットにのせ上げる。
  - ④ 吹付でA・B・Cを固定す。……⑤ Cは永久支保工なのでロッドは取り除く。
- 同様にして②→③…とつなぐ。  
次の片脚支保工となる。